

チャレンジの部規則 2026年度版

※神奈川県ジュニア体操競技選手権大会Dクラス特別規則改変

チャレンジの部

全体	同一要素は2回まで認める
	転倒減点は0.3、要素不足は減点0.3
	技の連続実施についての格上げはない
	エバーマット使用可
	その他については FIG 2025年版採点規則 に準拠する
採点は10.00から行う	

とび箱	高さ	低学年(小1～小3):小学生用とび箱6段(約 80 cm) または 7段(約 90 cm) 縦横自由 高学年(小4～小6):小学生用とび箱7段(約 90 cm) または 8段(約 100 cm) 縦横自由 中学生(中1～中3):中学生用とび箱7段(約 110 cm) 縦横自由
	試技回数	2回跳んで良い方の得点
	価値点	台上前転 8. 0 開脚、閉脚とび 8. 4 前転とび 9. 5 側転とび 9. 5 それ以上の技 9. 7
	加点	姿勢の美しさ、スピード、安定性、雄大性などに対して 最大0. 3まで
	その他	第1局面に補助行為があった場合 0. 0 第2局面で危険を回避するための補助行為があった場合 1. 0 の減点
	マット	演技面
要素		5要素 1. 5点(0. 3X5) 前方、後方、側方(ロンダートなど)をひとつずつは含むこと
加点		姿勢の美しさ、正確さ、雄大さ、柔軟性などに対して 最大1. 0まで
その他		タンブリング技のみで構成すること 体操系(ジャンプ、ターン、バランス、開脚座等)は、組み入れない(実施した場合 0. 3減点)
		演技時間は45秒以内(タイム減点0. 5)
		補助国威のあった技に対しての評価なし(要素なし)、減点もなし
		前転・後転・前転開脚・後転開脚・前転伸膝・後転伸膝・前方倒立回転・後方倒立回転 側転・倒立前転・とびこみ前転・後転倒立・伸肘倒立・浮き腰から倒立も要素として認める